

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	衣料品専門店 （経営者） 乗用車販売店 （従業員）	単価の動き 販売量の動き	・ 今月は秋物の出足が例年より良く、単価が上昇し、 売上は前年同月を上回った。 ・ 今月は中間決算の影響もあり、売行きが先月、先々 月と比べて、やや良くなっている。	
	変わらない	スーパー（店 長）	お客様の様子		・ ガソリン価格の高止まりで、景気の悪さは一旦止 まった。節約意識が非常に強いが、家族のイベントが ある日には普段より少し良いものを買うという傾向も みられる。
					・ 5月に導入したタスポの影響で一時的に売上が良く なっているように見えるが、たばこを除く一般品の売 上が伸びない。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き		・ 新車販売では前年が非常に悪かったこともあり、売 上は前年比126.6%と伸ばす事が出来た。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き		・ 新型車を発表したが、客は何処へ行ったのかと思っ たほど来客数は少ない。
		乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き		・ 競合出店による客数の減少や値上げに伴う買上点数 の減少が発生している。
		一般レストラン （経営者）	単価の動き		・ 来客数は相変わらず減少傾向が続いている。やはり 国内旅行が多少冷え込んでいるということである。ま た、四国は全国的に見ても観光客が少なく、地域間競 争も厳しい。
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き		・ 宿泊客数はほぼ前年並みであった。料金単価は下落 傾向にあったが、ここにきて歯止めが掛かり、前年並 みをキープ出来るようになった。
		都市型ホテル （経営者）	販売量の動き		・ 来客数は減少傾向にあるが、法人需要等において復 調の兆しもある。
		通信会社（管理 担当）	販売量の動き		・ 2、3か月前と比べ、来場者、予約状況共にあまり 変化はない。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き		・ 商談数自体はそう落ち込んでいないが、住宅展示場 への来場者数は明らかに減っている。
	住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き			
	やや悪く なっている	百貨店（営業担 当）	単価の動き		・ 客の購入単価が落ちている。特にインテリアを含む 高額商品が全く動かない。さらに、低価格の衣料品ま で購入単価が落ちているという状況で、かなり厳し い。
		百貨店（営業担 当）	それ以外		・ 前年同月に比べ来客数、売上共に下回った。また、 前月に比べて来客数が減少した。売上はブランド商品 及び紳士用品の苦戦が特に目立った。全般的に当用買 いに終始している。
		スーパー（店 長）	販売量の動き		・ 売上は前年割れが継続している。惣菜、調味料、米 等の一部加工食品以外の商品の販売量が落ちている。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き		・ 生活必需品に関しては変化が見られないが、衣料品 単独店舗は来客数が減ってきている。ロードサイドの 店舗は勢いが弱まり、総合ショッピングセンター・近 隣店舗・インターネット販売への客の移行が見られ る。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き		・ 売上が減少傾向にある。来客数は横ばいであるが、 1人当たりの買上点数が減少している。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き		・ 買上点数及び客単価が下落している。
		衣料品専門店 （経営者）	競争相手の様子		・ 閉店する店舗が目立ってきた。
衣料品専門店 （経営者）		販売量の動き		・ 9月は秋冬商品を前面に押し出して展開している が、盛り上がりには欠け、売上高は前年比5%程度マイ ナスで推移している。	
家電量販店（店 長）		来客数の動き		・ 買上客数が前年に比べて10%近く落ちている。	
乗用車販売店 （従業員）		お客様の様子		・ ガソリン価格が少し下がったが、先行きの不透明感 がぬぐえず買い控えが続いている。新車は、軽自動車 が優勢で、燃費中心の商談になっている。収益が見込 める高額車の商談が極端に減っている。	
一般レストラン （経営者）	来客数の動き		・ 近所で休業や廃業する店が、2軒、3軒と増えてい る。		

		通信会社（支店長）	来客数の動き	・原油高が企業や家計を圧迫し、百貨店等の客数が減少しているため、個人消費の本格的な回復は厳しい。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・従来にも増して、契約量が減少している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・個人客が減ってきている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・平日の来客数が特に減ってきている。
		設計事務所（所長）	それ以外	・今まで付き合いのなかった業者の営業マンが来るようになった。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・業界では、仕事量が大幅に減少したことにより、給与カット、解雇等で対処している会社や廃業する会社も出てきている。好転の兆しが全くなく、悪くなる一方である。
悪く なっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・良いニュースがなく、客の生活防衛感は強まるばかりである。
		商店街（代表者）	単価の動き	・商店街への来客数は、イベント等の影響で前年並みだが、秋冬物商品等のアパレルや雑貨の買上単価が下落している。客は財布を気にしながら買っている。
		一般小売店 [酒]（販売担当）	販売量の動き	・メーカーや卸からの仕入価格上昇分を販売価格に転嫁してから、販売量は落ちる一方である。高級品が本当に売れなくなった。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・食品催事は好調であったが、それ以外は大苦戦が続いている。自需品・ギフト共に低調で大幅な前年割れである。
		その他飲食 [ファーストフード]（経営者）	来客数の動き	・物価高騰により、外食を抑えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・全ての物が値上がりするなかで、客はタクシー乗車を控えている。3か月前に比べ、売上は4割近く落ちている。例年9月はそれほど悪くないが、今年は良くない。客数が減り、長距離も出ない。夜に1～1時間半客待ちで並んでも千円未満の距離という状況で、売上が伸びない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・前年同月と比べ、来客数がかなり減少している。売上も同3割減となっている。
			-	-
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
企業 動向 関連	変わらない	食品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は新商品の起用もあり多少は良いが、全体では前年より悪くなっている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設用クレーンの受注減少やチャーター料金の値下げにより、中小ユーザーの経営内容が厳しくなっており、商談の引き合い件数が落ちている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・大型量販店、多店舗展開しているスーパーマーケットのマネージャーとの会話のなかで「個人消費が伸びない」、「生活防衛意識が高まり、商品の価格や選択に二極化が見えてきている」、「普通のお客様までが購入に慎重になり、他店の価格や機能などの情報を集め、購入までの期間が長くなっている」などの話を聞く事が多くなっている。
	やや悪く なっている	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・売上は前年比では増収であるが、コスト上昇分の価格転嫁が進んでおらず、減益傾向である。来春には価格転嫁された新製品が市場投入されるが、それまでは厳しい状況が続く。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注量が伸びない。政府の景気浮上策に期待するしかない。
		輸送業（役員）	それ以外	・原油価格や原材料価格高騰の運賃への転嫁が難しく、コスト負担力が著しく低下している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・消費低迷でモノの動きが悪い。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・商品の販売数量の落ち込みが大きく、より低価格商品への志向が見られる。
		金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・マンションの販売動向について、大幅な値崩れがかなり起こっている。また、値引きをしても売れない物件も多数出てきている。

		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・資材・補材の価格が引き続き上昇している。価格上昇後に在庫で対応していた資材関係も、そろそろ在庫が尽き、実質の値上げとなっている。顧客から通年の見積りを要求されても、1年後の価格が見えないため、対応出来ない。
	悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原油高に端を発したコストの上昇は、次々と資材関係に広がり、歯止めが掛からない。しかし、小売業者の抵抗が強く、販売価格になかなか転嫁出来ない。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・鋼材の急激な値上がり収まり、一部では値下げの動きも出てきた。しかし、他の資材は相変わらず値上げ攻勢が続いている。
		公認会計士	取引先の様子	・顧問先企業の決算や試算表をみると、売上が前年比10%以上落ちている企業が90%を占める。それに伴い利益も落ちている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	職業安定所（職員）	それ以外	・月間有効求人倍率は、3か月前と同じ0.68倍となった。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・昨年に比べ企業の新卒採用ニーズが減少し、より少数精鋭の質を重視した採用に移行したり、採用自体を休止する企業が出てきた。転職市場も営業職が動かないため、企業は求人しても採用出来ない。
		職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き 採用者数の動き	・月間有効求人数が前年比15.4%減少し、8,000人を初めて割り込んだ。 ・管理経費等の削減を積極的に進める企業が増えており、採用も仲介手数料を支払わなければならない民間の職業紹介機関を通さず、公共の機関を通して採用をする企業の割合が高くなっている。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・最近の社会情勢の影響が、2010年度の新卒採用広告の出足が今一つである。また、自動車販売関連も本社からの支援金減で超低空飛行のままである。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・新規求人数は前年比29.5%減少し、有効求人数も同21.9%の減となり、過去1年間では最大の減少率となった。産業別でも、医療・福祉業を除くほとんどの産業で大幅に減少した。	